

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2021年11月12日

【四半期会計期間】 第96期第2四半期(自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)

【会社名】 電気興業株式会社

【英訳名】 DKK Co. , Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 近藤 忠登 史

【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号

【電話番号】 03 - 3216 - 1671 (大代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 高山 利久

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号

【電話番号】 03 - 3216 - 1671 (大代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 高山 利久

【縦覧に供する場所】 電気興業株式会社大阪支店  
(大阪府吹田市豊津町2番30号)  
電気興業株式会社名古屋支店  
(名古屋市東区東桜一丁目4番13号)  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第95期 第2四半期 連結累計期間	第96期 第2四半期 連結累計期間	第95期
会計期間	自 2020年4月1日 至 2020年9月30日	自 2021年4月1日 至 2021年9月30日	自 2020年4月1日 至 2021年3月31日
売上高 (百万円)	15,646	14,870	41,478
経常利益又は経常損失 ( ) (百万円)	374	181	1,799
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失 ( ) (百万円)	469	18	1,155
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	204	9	2,219
純資産額 (百万円)	45,567	47,070	47,991
総資産額 (百万円)	57,366	57,364	62,463
1株当たり四半期(当期) 純利益金額又は1株当たり 四半期純損失金額 (円)	39.09	1.52	96.14
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	77.6	80.6	75.2
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	2,447	5,563	1,447
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	1,260	59	1,402
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	405	1,174	633
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (百万円)	11,686	14,665	10,300

回次	第95期 第2四半期 連結会計期間	第96期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2020年7月1日 至 2020年9月30日	自 2021年7月1日 至 2021年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 (円)	8.78	12.16

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 第96期第2四半期連結累計期間及び第95期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 3 第95期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 4 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当第2四半期連結累計期間に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標等となっております。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から一部改善の動きを見せられており、企業収益は国内外の経済活動の持ち直しを受けて回復しております。また、企業収益の回復を受け、設備投資や雇用環境においても持ち直しの動きを見せております。一方、消費に関しては緊急事態宣言の発令に伴う影響等から再度落ち込んでおり、持ち直しの動きが続いていた生産活動も停滞していることから、わが国経済の先行きは依然として予断を許さない状況にあります。

当社グループの関係しております電気通信関連業界におきましては、移動通信関連分野では、5G向けのアンテナ需要に本格化の様相が見られております。一方、固定無線関連分野においては防災行政無線の需要が落ち着いた推移となっており、放送関連分野では放送事業者による設備更新・メンテナンス需要が発生しております。高周波応用機器業界におきましては、自動車関連分野における設備投資需要に一定の回復の兆しが見られておりますが、回復の基調は緩やかなものとなっております。

このような情勢の中で、当第2四半期連結累計期間における当社グループの受注高は前年同期比11.8%減の177億5千6百万円となり、売上高は前年同期比5.0%減の148億7千万円となりました。

利益の面では、営業損失は2億8千1百万円（前第2四半期連結累計期間は4億7百万円の営業損失）、経常損失は1億8千1百万円（前第2四半期連結累計期間は3億7千4百万円の経常損失）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、1千8百万円（前第2四半期連結累計期間は4億6千9百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を経過的な取り扱いに従って当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。詳細については、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（会計方針の変更）（収益認識に関する会計基準等の適用）」をご参照ください。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。（報告セグメント等の業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しております。）

#### （電気通信関連事業）

当事業では、移動通信関連分野においては、5G向けに割り当てられた周波数帯に対応したアンテナ需要について、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、基地局工事遅延等の影響が発生してはいましたが、移動通信事業者による設備投資需要に本格化の様相が見られております。固定無線関連分野においては、各自治体における防災体制強化とデジタル化の動きに伴う防災行政無線需要が落ち着いた推移となっており、放送関連分野においては、放送事業者による設備更新・メンテナンス需要の取り込みを図っております。その他分野としては、LED航空障害灯やサーマルカメラシステムの需要開拓を進めております。また、いずれの分野においても価格競争の激化により、受注環境は厳しさを増しております。このような環境のもと、当事業分野では、需要の取り込みと生産性の向上を積極的に図ってまいりました。

その結果、受注高は前年同期比17.6%減の137億8千8百万円、売上高は前年同期比13.5%減の108億1百万円となりました。また、セグメント利益（営業利益）につきましては、前年同期比11.7%減の6億9千7百万円となりました。

#### （高周波関連事業）

当事業では、主力であります高周波誘導加熱装置においては、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の急速な減少の後、主に海外市場における需要の回復から自動車関連業界における設備投資需要に一定の回復の兆しが見られておりますが、世界的な半導体の不足による業界全体への影響が継続しており、回復の基調は一段と緩やかなものとなっております。また、熱処理受託加工についても、需要が増加傾向にありますが、世界的な半導体の不足による生産量の調整から、影響が長期化しております。このような環境のもと、当事業分野では、事業環境を注視した上で、新規市場・新規ユーザーの開拓に加え、生産性の向上による利益の拡大に取り組んでまいりました。

その結果、受注高は前年同期比16.5%増の39億6千8百万円、売上高は前年同期比29.9%増の40億2千5百万円となりました。また、セグメント利益（営業利益）につきましては、前年同期比217.9%増の5億4千2百万円となりました。

（その他）

その他事業は、土地・事務所等の子会社等への賃貸を行う設備貸付事業並びに売電事業であります。売上高については前年同期比3.1%減の1億6千6百万円となりました。また、セグメント利益（営業利益）につきましては、前年同期比0.1%減の8千6百万円となりました。

## （2）財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ50億9千8百万円減少し573億6千4百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ44億5千7百万円減少し409億6千3百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が43億4千7百万円、棚卸資産が8億9千万円それぞれ増加したものの、受取手形を含む売掛債権が96億6千7百万円減少したこと等が挙げられます。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ6億4千万円減少し164億1百万円となりました。その主な要因は、繰延税金資産が2億6千2百万円増加したものの、投資有価証券が8億1千万円減少したこと等が挙げられます。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ42億2千4百万円減少し59億7千2百万円となりました。その主な要因は、支払手形を含む仕入債務が31億9千8百万円、未払法人税等が4億9千2百万円それぞれ減少したこと等が挙げられます。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ4千5百万円増加し43億2千1百万円となりました。その主な要因は、役員株式給付引当金が6千4百万円、その他に含まれる長期未払金が3億5千5百万円それぞれ減少したものの、その他に含まれる長期未成工事受入金が6億9百万円増加したこと等が挙げられます。

純資産は、前連結会計年度末に比べ9億2千万円減少し470億7千万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が4億8千8百万円、非支配株主持分が2億6百万円それぞれ減少したこと等が挙げられます。

## （3）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べ43億6千4百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には146億6千5百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は55億6千3百万円（前年同期は24億4千7百万円の獲得）となりました。これは主に売上債権の減少96億8千6百万円等の増加要因に対し、仕入債務の減少32億1千4百万円、棚卸資産の増加11億2千7百万円等の減少要因が下回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は5千9百万円（前年同期は12億6千万円の使用）となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出9億4千万円、投資有価証券の取得による支出1億4千1百万円等の減少要因に対し、投資有価証券の償還による収入5億5千万円、投資有価証券の売却による収入4億4千7百万円等の増加要因が下回ったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は11億7千4百万円（前年同期は4億5百万円の使用）となりました。これは主に配当金の支払額5億4千2百万円、自己株式の取得による支出4億1千4百万円、非支配株主への配当金の支払額1億9千8百万円等の減少要因によるものであります。

## （4）経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(5) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(6) 財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針に重要な変更はありません。

(7) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は9億9千万円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	56,000,000
計	56,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2021年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2021年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	14,084,845	14,084,845	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	14,084,845	14,084,845	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2021年7月1日～ 2021年9月30日	-	14,084,845	-	8,774	-	9,677

(5)【大株主の状況】

2021年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	1,371	11.43
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番12号	873	7.28
JPMBL RE NOMURA INTERNATIONAL PLC 1 COLL EQUITY (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	1 ANGEL LANE LONDON - NORTH OF THE THAMES UNITED KINGDOM EC4R 3AB (東京都千代田区丸の内2丁目7番1号)	583	4.86
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6番6号	444	3.70
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/JANUS HENDERSON HORIZON FUND (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カストディ業務部)	33 RUE DE GASPERICH, L-5826 HOWALD-HESPERANGE, LUXEMBOURG (東京都中央区日本橋3丁目11番1号)	443	3.69
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号	372	3.10
株式会社三菱UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	360	3.00
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1番2号	352	2.93
電気興業取引先持株会	東京都千代田区丸の内3丁目3番1号	327	2.73
OASIS JAPAN STRATEGIC FUND LTD.-CLIENT ACCOUNT (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	MAPLES CORPORATE SERVICES LTD, PO BOX 309, UGLAND HOUSE SOUTH CHURCH STREET, GEORGE TOWN, GRAND CAYMAN KY1-1104, CAYMAN ISLANDS (東京都新宿区新宿6丁目27番30号)	308	2.56
計	-	5,436	45.32

(注)1 上記所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は次のとおりであります。

日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 720千株

株式会社日本カストディ銀行(信託口) 669千株

2 2021年7月21日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書に係る変更報告書において、三井住友信託銀行株式会社及びその共同保有者が、2021年7月15日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として2021年9月30日現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、その大量保有報告書に係る変更報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号	372	2.64
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	東京都港区芝公園1丁目1番1号	283	2.01
日興アセットマネジメント株式会社	東京都港区赤坂9丁目7番1号	147	1.05

- 3 2021年9月16日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書において、オアシス マネジメント カンパニー リミテッドが、2021年9月9日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として2021年9月30日現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、その大量保有報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
オアシス マネジメント カンパニー リミテッド	ケイマン諸島、KY1-1104、グランド・ケイマン、ウグランド・ハウス、私書箱309、メイブルズ・コーポレート・サービシズ・リミテッド	711	5.05

- 4 2021年10月7日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書に係る変更報告書において、ノムラ インターナショナル ピーエルシー及びその共同保有者が、2021年9月30日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として2021年9月30日現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、その大量保有報告書に係る変更報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
ノムラ インターナショナル ピーエルシー	1 Angel Lane, London EC4R 3AB, United Kingdom	585	4.16
野村アセットマネジメント株式会社	東京都江東区豊洲2丁目2番1号	526	3.74

(6)【議決権の状況】

【発行済株式】

2021年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,090,600	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,941,400	119,414	-
単元未満株式	普通株式 52,845	-	-
発行済株式総数	14,084,845	-	-
総株主の議決権	-	119,414	-

(注) 1 「完全議決権株式(自己株式等)」欄の普通株式には、当社が導入した「役員向け株式交付信託」の信託口が所有する当社株式80千株は含まれておりません。

- 2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式14株が含まれております。

【自己株式等】

2021年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
(自己保有株式) 電気興業株式会社	東京都千代田区丸の内 三丁目3番1号	2,090,600	-	2,090,600	14.84
計	-	2,090,600	-	2,090,600	14.84

## 2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

### (1) 新任役員

役職名	氏名	生年月日	略歴、他の法人等の代表状況	任期	所有株式数 (千株)	就任年月日
監査役	松田 結花	1960年9月19日生	1985年4月 シティバンク、エヌ・エイ日本支店入社 1991年10月 中央新光監査法人入所 1992年10月 中央クーパースアンドライブランド国際税務事務所(現PwC税理士法人)入所 1995年4月 公認会計士登録 1999年4月 税理士登録 2002年7月 同事務所パートナー 2014年7月 PwC税理士法人理事 2021年7月 当社監査役(現) 2021年7月 松田結花公認会計士・税理士事務所設立 同所所長(現)	(注)2	-	2021年 7月1日

- (注) 1 監査役松田結花は、「社外監査役」であります。  
 2 監査役の任期は、就任の時から2025年3月期に係る定時株主総会の終結の時までであります。  
 3 前任である小林祥二は2021年6月30日をもって辞任しております。

### (2) 役職の異動

新役職名	旧役職名	氏名	異動年月日
取締役執行役員 秘書室長	取締役執行役員 管理統括部長	浅井 貴史	2021年7月1日

### (3) 異動後の役員の男女別人数及び女性の比率

男性11名 女性2名(役員のうち女性の比率15.4%)

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に準拠して作成し、「建設業法施行規則」（昭和24年建設省令第14号）に準じて記載しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2021年7月1日から2021年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,995	23,342
受取手形・完成工事未収入金等	20,836	11,168
未成工事支出金	339	101
その他の棚卸資産	14,511	15,640
その他	742	713
貸倒引当金	3	3
流動資産合計	45,421	40,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,046	11,054
機械装置及び運搬具	9,502	9,516
工具、器具及び備品	7,187	7,534
土地	2,241	2,241
リース資産	293	245
建設仮勘定	44	31
減価償却累計額	23,181	23,421
有形固定資産合計	7,134	7,202
無形固定資産		
575		614
投資その他の資産		
投資有価証券	7,025	6,215
長期貸付金	3	3
退職給付に係る資産	580	567
繰延税金資産	615	877
その他	1,155	969
貸倒引当金	47	47
投資その他の資産合計	9,332	8,584
固定資産合計	17,042	16,401
資産合計	62,463	57,364

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	6,950	3,752
短期借入金	2,280	2,180
1年内返済予定の長期借入金	6	34
リース債務	62	60
未払法人税等	613	120
未成工事受入金	51	230
完成工事補償引当金	37	33
製品保証引当金	77	60
賞与引当金	612	626
役員賞与引当金	36	-
工事損失引当金	34	11
その他	1,432	862
流動負債合計	10,196	5,972
固定負債		
長期借入金	433	427
リース債務	95	77
役員株式給付引当金	102	38
退職給付に係る負債	2,905	2,865
資産除去債務	49	49
その他	689	863
固定負債合計	4,275	4,321
負債合計	14,472	10,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,774	8,774
資本剰余金	9,731	9,723
利益剰余金	31,830	31,341
自己株式	5,088	5,305
株主資本合計	45,248	44,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,270	1,274
繰延ヘッジ損益	11	5
為替換算調整勘定	40	93
退職給付に係る調整累計額	401	350
その他の包括利益累計額合計	1,724	1,724
非支配株主持分	1,018	812
純資産合計	47,991	47,070
負債純資産合計	62,463	57,364

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>売上高</b>		
完成工事高	7,627	5,756
製品売上高	7,958	9,062
その他の事業売上高	2 60	2 51
<b>売上高合計</b>	<b>15,646</b>	<b>14,870</b>
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	6,496	4,850
製品売上原価	6,655	7,267
その他の事業売上原価	2 24	2 22
<b>売上原価合計</b>	<b>13,177</b>	<b>12,140</b>
<b>売上総利益</b>		
完成工事総利益	1,130	905
製品売上総利益	1,302	1,794
その他の事業総利益	2 35	2 28
<b>売上総利益合計</b>	<b>2,468</b>	<b>2,729</b>
販売費及び一般管理費	1 2,875	1 3,011
<b>営業損失( )</b>	<b>407</b>	<b>281</b>
<b>営業外収益</b>		
受取利息	7	4
受取配当金	96	97
その他	57	62
<b>営業外収益合計</b>	<b>160</b>	<b>163</b>
<b>営業外費用</b>		
支払利息	14	13
コミットメントフィー	30	38
その他	82	11
<b>営業外費用合計</b>	<b>127</b>	<b>63</b>
<b>経常損失( )</b>	<b>374</b>	<b>181</b>
<b>特別利益</b>		
投資有価証券売却益	-	33
<b>特別利益合計</b>	<b>-</b>	<b>33</b>
<b>特別損失</b>		
投資有価証券評価損	269	-
<b>特別損失合計</b>	<b>269</b>	<b>-</b>

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
税金等調整前四半期純損失( )	643	147
法人税、住民税及び事業税	81	96
法人税等調整額	235	254
法人税等合計	153	157
四半期純利益又は四半期純損失( )	489	10
非支配株主に帰属する四半期純損失( )	19	8
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )	469	18

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失( )	489	10
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	396	4
繰延ヘッジ損益	21	5
為替換算調整勘定	160	52
退職給付に係る調整額	27	50
その他の包括利益合計	285	0
四半期包括利益	204	9
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	136	17
非支配株主に係る四半期包括利益	67	8

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失( )	643	147
減価償却費	620	668
賞与引当金の増減額( は減少)	170	14
役員賞与引当金の増減額( は減少)	10	36
退職給付に係る負債の増減額( は減少)	44	99
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	10	-
役員株式給付引当金の増減額( は減少)	0	10
貸倒引当金の増減額( は減少)	15	0
工事損失引当金の増減額( は減少)	12	23
製品保証引当金の増減額( は減少)	4	17
受取利息及び受取配当金	103	101
支払利息	14	13
為替差損益( は益)	6	0
投資有価証券売却損益( は益)	-	33
投資有価証券評価損益( は益)	269	-
売上債権の増減額( は増加)	7,126	9,686
未成工事支出金の増減額( は増加)	412	238
棚卸資産の増減額( は増加)	1,203	1,127
その他の資産の増減額( は増加)	1	273
仕入債務の増減額( は減少)	2,510	3,214
未成工事受入金の増減額( は減少)	365	788
未払消費税等の増減額( は減少)	338	301
その他の負債の増減額( は減少)	36	683
その他	13	36
小計	2,482	5,942
利息及び配当金の受取額	104	101
利息の支払額	14	17
法人税等の支払額	124	464
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,447	5,563

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	16,230	14,812
定期預金の払戻による収入	15,554	14,830
有形及び無形固定資産の取得による支出	618	940
有形及び無形固定資産の売却による収入	1	3
投資有価証券の取得による支出	110	141
投資有価証券の売却による収入	143	447
投資有価証券の償還による収入	-	550
貸付けによる支出	0	0
貸付金の回収による収入	0	0
その他	0	4
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,260</b>	<b>59</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	3	100
長期借入れによる収入	159	-
リース債務の返済による支出	21	33
自己株式の売却による収入	6	114
自己株式の取得による支出	1	414
配当金の支払額	545	542
非支配株主への配当金の支払額	-	198
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>405</b>	<b>1,174</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	35
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	755	4,364
現金及び現金同等物の期首残高	10,931	10,300
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,686	14,665

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、当社グループの工事契約の一部について、従来は、工事の進捗部分について成果の確実性が認められる場合には、工事進行基準によっておりましたが、財又はサービスに対する支配が顧客に一定の期間にわたり移転する場合には、財又はサービスを顧客に移転する履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。履行義務の充足に係る進捗度の測定は、各報告期間の期末日までに発生した工事原価が、予想される工事原価の合計に占める割合に基づいて行っております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5億2千7百万円増加し、売上原価は4億8千4百万円増加し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ4千2百万円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は3千5百万円増加しております。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の会計上の見積りに与える影響)

新型コロナウイルス感染症の拡大による当社グループへの影響は継続しており、当社は社内外の情報源に基づく情報等を踏まえて、今後一定期間にわたり当該傾向が継続すると仮定し、固定資産の減損損失及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。当第2四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。なお、新型コロナウイルス感染症が更なる拡大・長期化した場合には、当社グループの業績と財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 その他の棚卸資産の内訳は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
製品	1,104百万円	1,816百万円
仕掛品	1,804百万円	2,240百万円
原材料及び貯蔵品	1,601百万円	1,582百万円
計	4,511百万円	5,640百万円

2 当社は、資金需要に対する機動性・安全性の確保及び財務リスクの低減を図るため、主要取引金融機関と特定融資枠契約(貸出コミットメント契約)を締結しております。

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
特定融資枠契約の総額	14,000百万円	14,000百万円
実行残高	-百万円	-百万円
差引高	14,000百万円	14,000百万円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
従業員給料及び手当	1,150百万円	1,220百万円
賞与引当金繰入額	239百万円	208百万円
退職給付費用	84百万円	38百万円
役員退職慰労引当金繰入額	5百万円	-百万円
役員株式給付引当金繰入額	7百万円	10百万円

2 その他の事業売上高、その他の事業売上原価、その他の事業総利益は、当社グループの事業区分のうち、設備貸付事業並びに売電事業にかかる売上高、売上原価、売上総利益を、それぞれ示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
現金及び預金	20,053百万円	23,342百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	8,367百万円	8,677百万円
現金及び現金同等物	11,686百万円	14,665百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年6月26日 定時株主総会	普通株式	543	45.00	2020年3月31日	2020年6月29日	利益剰余金

(注) 配当金の総額は、取締役向け株式報酬制度の導入において設定した株式会社日本カストディ銀行(信託口)が保有する当社株式に対する配当金2百万円を含めて記載しております。

なお、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社は、合併により2020年7月27日付で株式会社日本カストディ銀行に商号変更しております。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年6月29日 定時株主総会	普通株式	543	45.00	2021年3月31日	2021年6月30日	利益剰余金

(注) 配当金の総額は、取締役向け株式報酬制度の導入において設定した株式会社日本カストディ銀行(信託口)が保有する当社株式に対する配当金2百万円を含めて記載しております。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	電気通信 関連事業	高周波 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,486	3,099	15,586	60	15,646	-	15,646
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	-	7	111	118	118	-
計	12,493	3,099	15,593	171	15,765	118	15,646
セグメント利益又は 損失( )	789	170	960	86	1,046	1,453	407

(注)1 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備貸付事業並びに売電事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額 1,453百万円には、セグメント間取引消去 50百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 1,403百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	電気通信 関連事業	高周波 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,793	4,025	14,818	51	14,870	-	14,870
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	-	7	115	122	122	-
計	10,801	4,025	14,826	166	14,993	122	14,870
セグメント利益又は 損失( )	697	542	1,239	86	1,325	1,607	281

(注)1 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備貸付事業並びに売電事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額 1,607百万円には、セグメント間取引消去 57百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 1,549百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	電気通信 関連事業	高周波 関連事業	計		
工事	5,756	-	5,756	-	5,756
設備・機材売上等	5,037	4,025	9,062	-	9,062
売電収入等	-	-	-	51	51
外部顧客への売上高	10,793	4,025	14,818	51	14,870

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額( )	39円09銭	1円52銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は親会社 株主に帰属する四半期純損失金額( )(百万円)	469	18
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 金額又は親会社株主に帰属する四半期純損失金額 ( )(百万円)	469	18
普通株式の期中平均株式数(株)	12,017,520	11,937,932

(注)1 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3 取締役向け株式報酬制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託口)が保有する当社株式を、「1株当たり四半期純利益金額」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前第2四半期連結累計期間59,196株、当第2四半期連結累計期間64,984株)。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年11月12日

電気興業株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ  
東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 森 田 健 司 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 森 竹 美 江 印

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている電気興業株式会社の2021年4月1日から2022年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2021年7月1日から2021年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、電気興業株式会社及び連結子会社の2021年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。